

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献

売上高
5,000億円営業利益
250億円売上高
4,500億円営業利益
210億円

② 中長期の経営戦略

1. 冷凍食品事業強化

2030年までに売上高900億円/年を目指す。米飯・ワンプレート商品・個食パスタの拡大と供給能力増強に取り組む

3. 製粉事業革新

知多新工場の2026年2月稼働により原材料調達コスト削減と最新自動化技術によるスマートファクトリー化を推進

2. 海外事業拡大

2030年までに売上高600億円/年を目指す。既存進出国の拡大と新規需要地域への展開、クロスボーダーM&Aを推進

4. マーケティング戦略

株式会社刀との協業で消費者起点のマーケティングノウハウを組織全体に移植し、ブランド認知と収益拡大を図る

③ 対処すべき課題

① 経営環境の急速な変化

- ・ 原材料・エネルギー価格の高止まりへの対応
- ・ 消費者の節約志向強まりへの対応
- ・ 国内外の消費行動変化への対応

② サステナビリティ経営推進

- ・ 2030年度までにスコープ1+2のGHG排出量を2021年度比42%削減
- ・ 持続可能なサプライチェーン構築と生物多様性保全
- ・ 人権デュー・ディリジェンスと自然資本リスク特定

③ 組織風土と人財育成

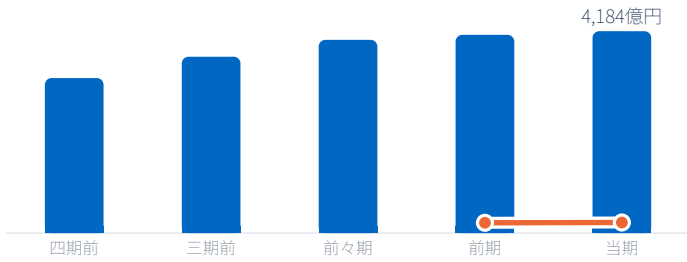
- ・ パイオニア精神と創造性・多様性を育む職場環境構築
- ・ 人財ビジョンに基づいた人財育成と人事制度改定
- ・ 従業員の心身の健康と能力発揮の最大化

面接で使えるポイント

- ・ 長期ビジョン2030で売上高5,000億円・営業利益250億円を目指し、総合食品企業として食による社会課題の解決に挑戦
- ・ 知多新工場（2026年2月稼働）やニッポンベトナム新工場（2027年稼働）など生産拠点の新設で供給体制を強化
- ・ 株式会社刀との協業や人財ビジョン策定を通じて、創造性・多様性を育むチャレンジングな職場環境を実現

証券コード 2001

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,184億円営業利益率
5.3%財務健康度
50点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 59.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
758万円

食料品内 38位/120社

平均年齢
39.0歳

食料品内 105位/121社

平均勤続
14.0年

食料品内 72位/121社

女性管理職
10.0%

食料品内 60位/106社

男性育休
93.9%

食料品内 44位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ニッポン[2001]: 株主優待制度の変更に関するお知らせ 2

